

酪農部会

良質な生乳生産



部会員一丸となって、より安全・安心な高品質生産を維持するために努力しています。牛は敏感でやさしい動物です。ストレスを感じることなく心地よく過ごせるように環境には気を付けています。

部会長 津田 恵美



ミストで心地よい環境を

ミキサーで混ぜた混合飼料をトラクターで給餌



飼料は朝夕2回与えます



トウモロコシや穀物の飼料



大津地区担当の矢川です

農家さんのサポート頑張ります!

※酪農課職員二丸となって、経営相談、情報提供、研修会、会議や総会資料づくり、環境対策、問題解決のサポートなど、酪農家の技術力向上と経営安定化を支援することで、酪農の発展に貢献します。

酪農部会は平成9年に統一部会として発足しています。生産者の高齢化やさまざまな事情で生産者戸数は減少していますが、大規模農家も増え生乳生産量は維持しています。菊池地域の豊かな自然の中で、良質なエサ、コスト削減も考え自給飼料づくりに力を入れています。

防疫対策、二斉消毒、乳質改善巡回(乳質を確認するラクトコダー検定・ミルカーの点検)など、部会員が意識を一つにして品質の良い生乳づくりに励んでいます。

菊池地域は、 西日本有数の酪農地帯

部会員戸数 120戸
生乳生産量 年間約8万t
※生乳は、うぐのうまザース「うぐのう牛乳」や乳飲料、加工品になります。